



ホッピーだより



No.504

2026 年 11 月 1 日発行

むかわ町穂別恐竜博物館

〒054-0211 北海道勇払郡むかわ町穂別 80-6
Tel 0145-45-3141 HP(<http://www.town.mukawa.lg.jp/1908.htm>)
Facebook([@HobetsuDinosaurMuseum](https://www.facebook.com/HobetsuDinosaurMuseum))

2026 年の主な収集資料



2026 年は40 cm^こを越える大型のアンモナイト^{おおがた}2点^{さいしゅう}を採集しました。それぞれ、一人でも運べる重さのものでした。右の標本は中野ボランティアが発見したのになります。

希少な種類ではないのですが、種内^{へんい}変異などを調べるにあたって、重要な^{しりょう}資料になると期待されます。



2026 年に発見・採集した大型アンモナイト2点

左上の標本発見時の写真。右下の調査用ザック（深緑色）になんとか入ったので、持ち帰りました。

学芸員 西村智弘^{ともひろ}

2025 年度の主な クリーニング資料^{しりょう} (4)



[ホッピーだより No. 491](#) で紹介したイノセラムス^{しょうかい}（二枚貝^{にまいがい}）のクリーニングが終了しました。この標本は、採集時の予察どおり日本からも産出しているイノセラムス・エルンストイ（*Inoceramus ernsti*）と呼ばれる種類です。日本産で 20 cm を越える標本としては、北海道小平町から産出している標本に次ぐ2標本目のものです。イノセラムス類の分類区分や系統進化を探るうえでも重要な^{しりょう}資料といえます。

学芸員 西村智弘^{ともひろ}

新館 恐竜館の紹介（6） 「カムイサウルスが生きたアジア沿岸」



カムイサウルスの全身復元骨格（レプリカ）2体が展示されているスペースは「カムイサウルスが生きたアジア沿岸」という展示テーマとなっています。陸がテーマの展示なので、壁際には、カムイサウルスと共産した花粉化石や、穂別で採集された白亜紀末の植物化石も展示されています。

恐竜を左向き（顔の左側が見えるよう）に配置すると、展示が安定するように感じるため、当館のメインの展示であるこの2体は左向きに設置しました。縦構図の写真撮影をする場合は、正面から撮影すると良い写真が取れるようです。この場合は手前のカムイサウルスがやや右向きになります。

学芸員 西村智弘

穂別恐竜博物館

開館時間 9:30 ~ 17:00
(最終入館 16:30)

観覧料	一般 (高校生~)	小・中学生
一日券	600 円	300 円
年間券	1,500 円	800 円

小学生未満：無料
むかわ町の小学生～高校生：無料

2026年 11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

2026年 12月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

休館日 町民無料観覧日



苦小牧から約1時間半
札幌から千歳経由で約2時間